

---

2027年度

# 入園考查要項

---



桐朋幼稚園

## 桐朋幼稚園が大事にしていること

一人ひとりの子どもが幸せな子ども時代を築いていくために、ご家庭の皆様と幼稚園が一緒になって、子どもたちの育ちを考えていきたいと思っています。

子どもは、人間としての「からだ」「感覚や機能」「思考」「ことば」「心の動き」を持っています。そして親、家族、その他さまざまな人とのかかわりを広げ、大きくなっていきます。桐朋幼稚園では、どの子どももかけがえのない「ひとりの人間」として受け止め、子どもを原点に据えて保育を行ってきました。それは昔も今も変わらずに大事にしていることです。

しかし、ここ数年、子どもを取り巻く周囲の状況の変化により、子どもたちの育つ環境が急速に変わり、遊びの中での味わってほしい経験が十分にされていないのではないかと捉えています。例えば、

「これはなんだろう」と身の周りがある様々なことを不思議に思ったり、興味をもつ。

「あれ、おもしろそうだな」とやりたいことを見つけやってみる。

「できなかった…でももう一回！」と思うようにいかなくても、何度も繰り返しやってみる。

「やったー、できた！もっともっと！」と達成感、喜びを感じる。

このように、遊びの中でやりたいと思ったことを、繰り返し何度もやってみる、そして満喫する。その場所と時間を3年保育において保証することを大事にします。

そのような幼稚園時代に育んでいきたいもの。それが「生きるために必要な根」であると考えています。その根を培えるよう、園とご家庭とで一人ひとりの子どもの気持ち、思い、表しを大切に受けとめ、応えていきます。「自分は応えてもらえる存在」と子ども自身が感じられることで、他者に対する信頼と共に自分に対する信頼が芽生え、安心が大きくなります。そのことが、「これをやってみよう」「次はこうしてみたい」等、意欲や気持ち、表しに繋がると考えます。

さらに伸びようとする子どもたちが場と時間を共にすると、少しずつ「他者」とのかかわりが生じます。そのかかわりが深まれば、「これをやりたい」という思いが湧き上がったり、「あの子と一緒に」の気持ちも膨らんでくることがあります。

しかし、子どもたちはそれぞれに性格や特徴が異なるので、常に気持ちや思いが通じ合うわけではありません。時には互いに相容れず、ぶつかり合い、ケンカになることもあります。そのように思いを出し合いながら、自分と他者の「違い」を知っていきます。その違いを認め合いながら、それぞれが自分の持ち味を発揮し、共に響き合う楽しさや喜びを味わうためには、互いの関係や距離感、自分の心や思いを調整することが必要になります。具体的には、悩んだり困ったりといった葛藤を経験し、気持ちに折り合いをつけること、我慢すること、譲ることなどがあります。これらは子どもたちが自分たちのかかわりを豊かにしていくために必要なこととして、体験を通じて学んでほしいと願っています。

上記のような学びの過程には、時にぶつかり合いやケンカが生じることもあるでしょう。そのなかで、痛みを知ることも幼児期の大事な経験と捉えます。私たちは大きな怪我にならないよう安全確保に努めながら、その時々状況に応じて、子どもたちの成長にとって必要な経験と判断する際は、ケンカを見守ることも有ります。

「ケンカせずに仲良く」という方法（論）から子どもが経験するかかわりと、子どもたち自身が試行錯誤し関係を伸び縮みさせながら経験するかかわりとでは、実体験による気づきや学び、自分と他者の思いに触れる経験、そこに生じる関係性の豊かさに違いが生じると考えます。

私たちは幼児期において、上記のことを大事にしながら、子どもたちが自ら、自分たちの社会、世界をつくっていくことを支えます。

昨今、幼児期に文字や数を学習することを促す教育もありますが、本園ではそれらを教えるということには致しません。日々の生活の中で、グループの仲間へ手紙などを配るために必要な枚数を数える等「数に触れる」機会を設けたり、「文字に興味をもてる」ような活動を取り入れています。幼児期の発達に即しながら、文字や数への興味関心を培うことを大事にします。推薦制度のある同キャンパスの桐朋小学校で

は、ひらがなや数との出あい、実際に事物に触れ、操作すること、身体をくぐらせることなどを大切に学ぶカリキュラムが組まれています。

## ■ 桐朋幼稚園 保育カリキュラム

桐朋幼稚園では、カリキュラムに3つの柱を設け、子どもたちの生活もその柱を元に構成されています。その3つが「遊び」「生活」「題材的な活動」です。これらは独立したものではなく、それぞれが総合的にかかわり合うものとして考え、保育内容を計画し、行っています。

「遊び」は、子どもが自分のやりたいことを見つけて楽しむ、もっとも自発的な活動です。遊びを通して、子どもは命を輝かせ、豊かな人間形成をします。遊びを通して心地よい、楽しいときを過ごすことは、子どもの成長、発達にとってかけがえのないものです。

「生活」は、身支度、食事、排泄、園生活を送る上での基本的な生活習慣の自立を促します。また、園生活が子どもたち主体の場になるよう、グループの当番、係活動など、出来ることを担っていきます。

「題材的な活動」は、子どもの実態と幼稚園の生活の流れに沿って保育者が選定した題材を、子どもが主体的に取り組むことを大切にしながら行う活動です。造形、音楽、運動などを軸にした活動があります。

この3つの活動は、年齢、時期によって、その比重が異なります。

例えば3歳児1学期、特に入園期は、新しい場や人の中で生活することの不安・緊張を取り除き、安心安定をはかることを大事に考えます。ですから、園生活1日は「遊び」をメインとし、自分のやりたいことをたっぷり楽しむ時間をたくさんもちます。その中で徐々に、自分の周りのこと、友だちにも目が向き始め、少人数あるいはクラスみんなで一緒に、「生活」のことや「題材的な活動」にも取り組むようになっていくと考えています。5歳児年長組になる頃には、園生活全体のこと意識を向け、皆が気持ちよく生活できるよう、仲間と共にできることを考え、行っていきたいと考えています。そのことから、3つの柱どれもが主となるような1日を送るようになります。この配分は、年齢や時期だけでなく、子どものその日の様子に対応しながら、柔軟に組み立てていきます。

## ■ 桐朋幼稚園の行事について

幼稚園では年間を通して行事を計画しています。これらの行事は、園生活の延長線上に位置づくよう、保育を行っています。

例えば、「音楽を楽しむ会」というのは、日々の活動の中で楽しんできた合奏や歌の中から、子どもたちが表現したいものを選び、当日に子どもたち、ご家族の方、保育者のみんなで歌ったり、合奏したりして音楽を楽しみます。

保護者の方々には、音楽を楽しむ会のほかに、プレイデーや修了式などへの参加をお願いしています。私たち保育者と一緒に企画をしたり、参加をしながら、保育の考えをご理解いただき、ご自分のお子さんだけでなく、子どもたち全員の育ちを一緒に見つめ、喜びあっていきたいと考えています。そのため、行事の係を保護者の方々にも分担して参加をお願いしています。

## ■ 家庭との連携

お子さんの豊かな育ちを支えていくためには、ご家庭と幼稚園との連携が欠かせません。保育参加参観や懇談会は、各学期1回、個人面談は年に2回、平日に行っています。また、日々の送り迎えの際や連絡帳を通じて、幼稚園での出来事やご家庭での変化などをタイムリーに交流しながら、保育での働きかけに活かしていきます。ご両親ともにお仕事をされているご家庭もあり、送り迎えはご親族やシッターさんをお願いしている方もいらっしゃいます。お子さんの健やかな成長のために、いろいろな形をとり、連携をすすめます。

また年に3回、子どもの生活で大事にしたい事や親御さんの育児に活かせることなどを学ぶ「学ぼう会」を設けています。外部講師による講座やワークショップ型など、学び方は様々で、その内容はその年々ごとにPTA委員の方と考えています。

## ■ 幼稚園と小学校の連携

幼稚園と小学校は初等部として、幼児期から児童期における教育を共に考え行っています。

園舎の上（2階）に小学校低学年の子どもたちが生活しており、また園庭の奥には幼稚園・小学校で共有している畑やしぜんひろばがあります。日々の中で園児と児童が交じり合う機会が沢山あり、互いにとって育ち合いの場となります。子どもたちだけでなく、職員も子どものことや保育・教育について、共に学び合うことを大事にしています。

## ■ 通園・保育時間・安全について

お弁当や保育時間については、各学年各時期の育ちや体力を鑑みながらすすめます。

入園当初は、お子さんの体力や精神面の安定を考慮し、お弁当なしの9時から11時半降園で行っています。5月の連休明け頃から週1回13人ずつのお弁当を始め、6月頃から26人全員で週2回お弁当ありの13時～13時50分降園、10月頃には週3回お弁当ありの13時50分降園となります。生活経験が積み重なっていくに連れて、4歳児は13時55分、5歳児は14時降園を予定しています。

桐朋幼稚園では通園における様々な学びを大事に考えております。通園を通して、安全に対する意識を深めることや、公共の交通機関でのマナーを身につける機会になると考えています。

通園方法は、3年保育になったことによる3歳児の体力、発達の観点などを考慮し、徒歩やバス・電車といった交通機関に加えて自転車、自家用車の利用が可能です。日々の送り迎えは保護者の方の責任で行ってください。なお、小学校への進学にかかわり、年長児の後半頃からは徒歩・公共の交通機関での通園を推奨します。

安全については、学園の警備員が1日に数回巡回しています。防犯カメラやインターフォンを設置し、不審者対応も行っています。また災害に対しては万が一の際には宿泊もできるよう、毛布や食料、簡易トイレなども備えています。学園全体の避難訓練や緊急時の引き渡し訓練も行っています。

## ■ 入園考査について

3歳児26名の募集となります。

考査時間はおおよそ1時間程度、親子2名で参加し、遊びを中心とした考査内容です。お子さんだけを別室に呼び、考査をすることはありません。

考査については、日常生活の中で遊びを楽しむことができ、話を聞いて理解することができれば問題なく考査を受けることができる内容です。

2、3歳児期の発達で大切にしたいことは、親子の関係性をベースに何か楽しいことをやってみたいと思える気持ちが育っていることだと考えています。また、「自分で」の意欲が芽生える時期は、なんでも触ってみたい、やってみたいという意欲にあふれる様子があります。その時期は、食事や排泄、着替えなどに関しても、意欲が膨らむことがあります。日々の子どものたちの主張や「どうしたいか」に寄り添いながら、基本的な生活習慣の自立を目指していくことこそ、何より大切に過ごしてほしいと思っています。数や文字といった知識を多く持ち得ていることより、衣服のボタンを自分でかけられること、排泄の処理が自分でできることの方が、3歳児が集団に入るために必要な育ちだと考えています。考査当日おむつを履いていらしても構いませんが、入園までにはおむつが外れているとよいです。

面接では、子育てに関するお考えや、保護者の方自身が大事に考えられていることなどをうかがいます。初等部として9年間、桐朋学園としては15年間、お子さんの成長を保護者の方と一緒に支えていきますので、教育方針にご賛同いただけることが、子どもの成長にとってより良いことだと考えています。

中学からは、仙川にある女子部門、国立にある男子部門に分かれ、男女別々の生活を送ります。幼稚園・小学校・中学校・高校、それぞれの職員が一緒になって子どもたちの成長を見守っていきます。

考査当日は、遊びによる考査には、ご両親どちらかお一人のみご参加いただきます。見知らぬ場所ですから、お子さんがぐずってしまうこともあるかもしれません。そんな時に、気長にお待ちいただける方が良いでしょうと思います。お母様・お父様、どちらでも構いません。ただし、遊び考査の後の面接には、ご両親どちらもご参加いただけます。

お子さんの服装に関しては、活動しやすい服装でお願いいたします。

## ■ 通園範囲について

現在、通園範囲は小学校と同じです。

P.6の「3.通園」に記載されている3つを満たしていることが条件となります。

子どもたちの様子を見ていると、個々のお子さんの体力によって、同じ所要時間で通園したとしても、疲れ方が違うように見受けられます。範囲内かどうかということだけでなく、ご自分のお子さんが毎日通うことができる距離かを、ご家庭でご判断ください。

現在、通園範囲外にお住まいの方も考査を受けていただくことは可能です。ただし、入園前の3月末日までには通園範囲内に転居されることが条件になります。

- ① 1月15日までに「転居先住所申請書」(指定様式)をご提出いただきます。  
本園にて申請のあったご住所を審査のうえ、承認/不承認のご連絡をいたします。
- ② 3月31日までに上記①で承認を受けた住所へ転居を完了してください。

※詳細については、合格発表時にお知らせいたします。

## 募集要項

1.募集人員	3歳児 26名
2.出願資格	2023年（令和5年4月2日）から2024年（令和6年4月1日）までに出生した子ども
3.通園	<p>保護者による送り迎えを原則としています。          スクールバスによる園児の送迎は行っていません。          通園方法については、徒歩、公共の交通機関、自家用車・自転車になります。</p> <p>自家用車・自転車の利用については、近隣の駐車場への駐車(自家用車)、学園内もしくは近隣の駐輪場への駐輪(自転車)を条件に、全学年の利用を可とします(但し、小学校進学にかかわり、年長児後半からは公共の交通機関での通園を推奨します)。</p> <p>自宅からの通園時間（自転車・自家用車を利用しない通園方法で60分以内。交通機関は、各駅停車を利用するものとし、乗車時間は40分程度まで）と交通事情等を考慮して、通園範囲を定めています。</p> <p>通園条件は、次の3点を満たすものとしします。</p> <p>①次の各市・各区に住んでいること。          渋谷区、新宿区、杉並区、世田谷区、中野区、目黒区、稲城市、国立市、小金井市、狛江市、多摩市、調布市、日野市、府中市、三鷹市、武蔵野市、川崎市麻生区、川崎市多摩区</p> <p>②利用する交通機関（電車またはバス）は、2系統まで（乗り換えは1回）とします。ただし、新宿駅からJR・私鉄・バスなどへの乗り継ぎは認めておりません。          ※相模原線の乗り換えは、1路線とみなします。          ※都営新宿線の乗り換えは、2路線とみなします。</p> <p>③通園に要する時間は60分以内とします（自転車・自家用車を利用しない通園方法での所要時間。交通機関は、各駅停車を利用するものとし、乗車時間は40分程度までとします）。</p> <hr/> <p><b>★転居を条件として合格した方の「通園」手続について</b>          (イ)入園手続時に通園範囲内へ転居することを誓約していただきます。          (ロ)1月15日（金）までに通園範囲内の転居先を決定、3月31日（水）までに転居を完了してください。</p>
4.審査日	11月1日（日）～11月3日（火・祝）のいずれか1日 ※受付番号が掲載されている志願票を審査当日に持参してください。

<b>5. 考査方法</b>	親子での遊びによる考査（保護者はお1人のみ入室） 保護者と子どもの親子面接（両親の参加可、面接時間は1家庭5分を予定）
<b>6. 選考料</b>	2万円（お支払いに際し、別途所定の手数料がかかります）
<b>7. 出願方法</b>  <small>※Web出願と書類郵送の両方が必要です。</small>	1) インターネットによる出願、選考料納入となります。 下記の期間内に本園ホームページより手続きを行ってください。 詳細についてはP.12「インターネット出願の流れ」をご確認ください。 10月1日（木）0時～10月4日（日）12時 <締切日厳守>  2) 期日までに所定の書類をご提出ください。→「8.出願書類の提出」  3) 10月8日（木）以降に出願サイトより志願票を印刷してください。 その際に「 <u>受付番号</u> 」が掲載されていることをご確認ください。 志願票は考査当日に持参してください。  4) 考査日時（時間割）は、10月8日（木）までに本園ホームページ上でお知らせします。閲覧にはパスワード入力が必要です（前日までに出願サイトにご登録のメールアドレスへご連絡いたします）。
<b>8. 出願書類の提出</b>	インターネット出願手続き後、下記の①～③を10月5日（月）まで必着にて郵送してください（封筒はご家庭で用意してください）。なお、写真票と一緒に出力される宛名ラベルを使用し、簡易書留またはレターパック等、受取記録の残る方法にてご提出ください。  ①入園願書 [A 4]      ②志願理由記載書 [A 4]      ③写真票  <small>※①②について</small> 9月1日以降、本園ホームページより様式のダウンロードが可能です。ご家庭でA 4の白い紙を用意していただき、印刷をお願いします。記入にあたっては必ずP.10以降の記入例をご確認ください。  <small>※③について</small> インターネット出願後、マイページより写真票の印刷が可能です。A 4の白い紙に印刷し、写真を1枚貼り付けてください。受付番号は学校で記入いたします。なお、写真は縦7cm×横5cmサイズ（白黒又はカラー）、本人のみ、上半身・正面、考査日より3か月以内撮影のものをご使用ください。
<b>9. 選考結果発表</b>	Web発表 11月4日（水）15時 <small>※選考結果によっては2次募集を行います。</small>

<b>10.入園手続</b>	<p>1) インターネット上で入園料30万円を期日までに納入してください。 クレジットカードまたはペイジー決済となります。 納入方法などの詳細は、合格発表画面上でご案内いたします。</p> <p>11月4日(水) 15時～11月5日(木) 14時 &lt;締切日厳守&gt;</p> <p>2) 上記期日までに入園料を納入された方へ、合格通知書、入園許可証及び入園手続書類一式を本園より11月5日(木) 午後に発送いたします。</p> <p>3) 入園手続書類を11月末日までに本園宛てに郵送提出してください。</p>																						
<b>11.説明会、見学会</b>	<p>本幼稚園の教育方針・入園考査などについての説明会、見学会等を開催する予定です。詳しくは桐朋幼稚園ホームページをご覧ください。</p>																						
<b>12.進学推薦制度</b>	<p>本幼稚園を修了した園児には、桐朋小学校(桐朋学園女子部門・仙川キャンパス)への推薦制度があります。</p>																						
<b>13.制帽・かばん</b>	<p>制帽(夏/冬)、本園指定のナップザック型かばんを使用</p>																						
<b>14.諸経費</b> 2026年度現在  ※右記諸経費は2027年度以降、改定することがあります。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="474 916 614 1184" rowspan="5">園 費</td> <td data-bbox="659 916 1061 969">入 園 料</td> <td data-bbox="1067 916 1240 969">300,000 円</td> <td data-bbox="1246 916 1422 969" rowspan="5">入園手続時に納入     入園後に納入</td> </tr> <tr> <td data-bbox="659 978 1061 1023">保 育 料 (月額)</td> <td data-bbox="1067 978 1240 1023">49,600 円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="659 1032 1061 1077">施 設 維 持 費 (月額)</td> <td data-bbox="1067 1032 1240 1077">10,500 円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="659 1086 1061 1131">教 育 充 実 費 (月額)</td> <td data-bbox="1067 1086 1240 1131">2,000 円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="659 1140 1061 1184">園 児 諸 料 (年額)</td> <td data-bbox="1067 1140 1240 1184">24,000 円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 1193 614 1283">委 託 金</td> <td data-bbox="659 1193 1061 1283">P T A { 入会金(入園時) 会費(年額)</td> <td data-bbox="1067 1193 1240 1283">2,000 円 4,400 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 1292 614 1382">預 り 金</td> <td data-bbox="659 1292 1061 1382">予 納 金 (年額) (学級活動費・補助教材費)</td> <td data-bbox="1067 1292 1240 1382">25,000 円</td> <td></td> </tr> </table>	園 費	入 園 料	300,000 円	入園手続時に納入     入園後に納入	保 育 料 (月額)	49,600 円	施 設 維 持 費 (月額)	10,500 円	教 育 充 実 費 (月額)	2,000 円	園 児 諸 料 (年額)	24,000 円	委 託 金	P T A { 入会金(入園時) 会費(年額)	2,000 円 4,400 円		預 り 金	予 納 金 (年額) (学級活動費・補助教材費)	25,000 円			
園 費	入 園 料		300,000 円	入園手続時に納入     入園後に納入																			
	保 育 料 (月額)		49,600 円																				
	施 設 維 持 費 (月額)		10,500 円																				
	教 育 充 実 費 (月額)		2,000 円																				
	園 児 諸 料 (年額)	24,000 円																					
委 託 金	P T A { 入会金(入園時) 会費(年額)	2,000 円 4,400 円																					
預 り 金	予 納 金 (年額) (学級活動費・補助教材費)	25,000 円																					
<b>15.寄付金</b> (教育環境整備寄付金)	<p>教育環境のより一層の充実のため、入園手続完了者に、寄付をお願いしております(1口10万円、できれば2口以上)。</p>																						

◇個人情報保護法に基づき、志願者の個人情報は入園考査実施及び入園のための事務に関してのみ使用し、他の目的には利用いたしません。また第三者への提供は行いません。

# 記入例

**A 4・白い紙に印刷**

## 入園願書

- すべて自筆で記入してください。
- 油性の「黒インク」または「黒ボールペン」を用いて楷書で記入してください。
- 誤って記入してしまった場合は、間違った文字を二重線で消し、訂正印を押印してください。  
(※訂正の有無は、選考に影響しません)

住所は、マンション名、  
部屋番号も記入してください。

「現住所」とは、  
現在居住している住所です。  
※住民票記載ではありません。

園内でモルモットを  
飼育しています。  
出願日現在把握できている  
アレルギーがありましたら、  
ご記入ください。

バス利用の場合、  
会社名・系統番号及び  
停留所名を記入してください。  
仙川駅から幼稚園までは  
徒歩10分として  
計算してください。

2の場合も、記載の住所が  
通園範囲内でない場合は、  
合格の際、通園範囲内に  
転居をすることが条件と  
なります。

通園範囲に関しましては、  
P.6「3.通園」をお読みください。

**2000年度 入園願書**

受付番号は、  
記入しないでください。

ふりがな	きりのともこ	男	受付番号
志願者氏名	<b>桐野 朋子</b>	女	生年月日 西暦 20xx年 11月 20日生
志願者現住所	〒 182 - 8510 電話 03 ( 3300 ) △△△△ <b>調布市若葉町1-41-1</b>		

ふりがな	きりのともお	続柄	緊急時の連絡先
保護者氏名	<b>桐野 朋男</b>	父	第1連絡先 080 ( xxxx ) xxxx 第2連絡先 080 ( xxxx ) xxxx 第3連絡先 03 ( xxxx ) xxxx

	氏名	続柄	年齢	園・学校等に通っている場合は その名称と学年
保護者	桐野 朋男	父	40	
	桐野 朋華	母	38	
同居の家族	桐野 朋久	兄	9	桐朋小学校3年生
	桐野 朋也	兄	5	△△幼稚園 年中

志願者の保育歴、習い事など
2000年0月～ 桐友幼稚園 プレ保育
2000年0月～ □□幼児教室
2000年0月～ 水泳教室

食物・動物等のアレルギー	
なし	あり

あてはまる数字に○をつけてください。

1. 上記と同じ	京王線仙川駅から幼稚園までは徒歩10分として計算してください。	通園時間
(通園方法) 自宅 徒歩 〇〇分	バス 小田急バス 〇 仙川 徒歩 10分 03系統 〇 駅	約 〇〇分
2. 転居予定 (通園条件範囲内に転居予定であるが、転居先住所が通園範囲内でない場合は、20XX年3月31日までに桐朋幼稚園の認定する通園条件範囲内に転居することを誓約します)	転居先住所	通園時間
(通園方法) 自宅		約 分
3. 転居予定 (20XX年3月31日までに桐朋幼稚園の認定する通園条件範囲内に転居することを誓約します)		

保育歴の欄には、保育園・幼稚園・習い事などを記載してください。  
保育歴が特にない場合は、「なし」と記載してください。

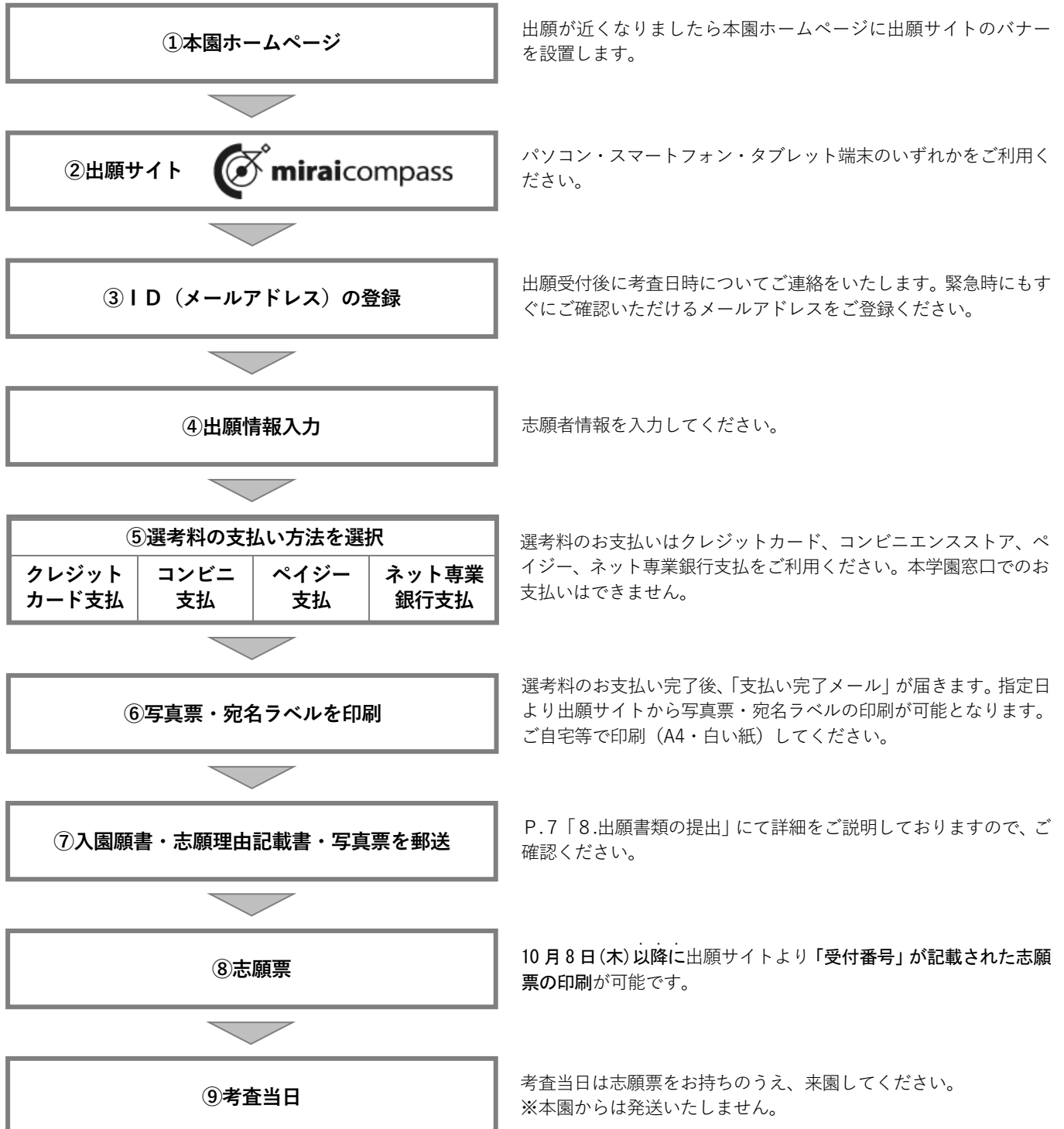


## インターネット出願の流れ

\* インターネット出願に関わる手続きは「miracompass」<sup>ミライコンパス</sup>のサイトで行います。

\* 平日・土日・祝日とも24時間出願手続きができます。

\* 各種クレジットカード・コンビニエンスストア・ペイジー・ネット専業銀行等でのお支払い方法が選べます。お支払いに際し、いずれの場合も所定の手数料がかかります。また、お支払い方法により手数料が異なりますので、予めご了承ください。



## 桐朋幼稚園を志願される保護者の方へ

1. 「生きるために必要な根を育てたい」、これが桐朋幼稚園の基本です。  
一人ひとりの幸せな子ども時代のために、園とともに子どもの育ちを考えていける家庭であることを望んでいます。
2. 園生活は子どもの生活の場です。さまざまな経験の中には、楽しいこと、嬉しいことはもちろんのこと、けんかを含めた葛藤経験をする場合もあります。仲間とかかわり、違いを認め合い、豊かな世界を作り出していく育ちの過程には、試行錯誤や失敗も大切です。そんな子どもの育ちをゆっくり見守っていきます。
3. 幼児期は、ゆったりした時間、豊かな自然の中で、心身を使って「やりたい」をたっぷり堪能してほしいと思います。文字や数の早期教育などはしておりません。気持ちが通い合う、ぶつかり合うといったさまざまな体験をし、人とつながり合う喜びを感じてほしいと願っています。
4. 通園は保護者による送り迎えを原則としています。

以上のような、園の方針にご賛同いただき、ご一緒にお子さんを桐朋幼稚園において育てていきたいとお考えのご家庭の出願を望んでいます。



学校法人  
桐朋学園

# 桐朋幼稚園

〒182-8510 東京都調布市若葉町 1-41-1

学園代表 TEL 03-3300-2111

<https://yochien.toho.ac.jp/>